

We are proud of Kizugawa-city.

KYOTO KIZUGAWA CITY



VOL.05



京都府木津川市

牛を健康に育てる。  
私たちの酪農はそれにつきます。

*Two of us*

## 探究心と愛情が育んだ “きれいな味”の牛乳



1



2



3

### クローバー牧場

まつもと とおる  
まさよ  
松本 徹さん・雅世さん



### 驚きの味わい“京都の特別牛乳”

国内四カ所の牧場でのみ製造を許可されている「特別牛乳」。徹底した衛生管理のもとで飼育された牛の生乳で、乳脂肪分3・3%以上など、成分は乳等省令(※)が定める基準を満たす。

理解はできる。しかし初めて飲んだとき、説明の言葉は吹き飛んでしまった。日頃口にしている、牛乳とは全く違う。爽やかとも言えるほどの、さらりとした飲み口。喉が渴ききったときに飲む水のように、やさしい甘さがすっと身体にしみこみ、自然に満足感が湧き上がる。頭ではなく、身体が、この牛乳の“特別さ”を感じたのだ。

1.徹さんの祖父がこの地で酪農をはじめた。夫婦で協力しながら、24時間、牛たちを見守っている。2.酪農とは無縁で育ったという雅世さん。今は牛たちがとてもかわいいと話す。3.産まれたばかりの仔牛。母牛の乳をたっぷり飲ませることで、成長後の抵抗力がぐんとあがるのだそう。

※乳及び乳製品の成分規格等に関する省令

どうしたら、こんな牛乳ができるのか。夏のある日、木津川市加茂町のクローバー牧場を訪ねた。

## 味を決めるのは牛の“健康”



4



5



6

4.ミルカーと呼ばれる搾乳機で乳を絞り、パイプで直接、隣接する加工場に送る。63~65度で30分間、低温殺菌してからボトルに詰められ、開封まで一度も空気に触れることはない。5.約50頭の牛が飼育されている。牛の前のハーフパイプにマイナスイオンを添加した水を流し、いつでも新鮮な水を飲めるようにしており、寝床の下には炭を敷いて調湿、脱臭。牛が快適に過ごせるよう、細かなところまで配慮している。6.牛が反芻しながら気持ち良さそうに寝ているのを見ると幸せな気持ちになると話す徹さん。

「健康な牛の便はあまり匂いません。牛乳の味は、牛の健康状態で決まります。牛を健康に育てる。私たちの酪農はそれにつきます」

続けて徹さんも言う。

「朝、牛舎に入った瞬間、牛たちのその日の調子がわかります。少し覇気がないな、とか。妻の雅世さんは話す。

牧場と聞くと、開けた牧草地をイメージするが、クローバー牧場は違う。田畠や民家のそば、木々が繁る奥まった場所に売店と牛舎が建つ。牛舎の間近に行くまで匂いを感じることもなく、「モオーン」という声が聞こえなければ、牛がいることがわからないほどだ。

牧場主の松本徹さんとともに、牛を育てる

二頭二頭の牛にあわせてエサや寝床を調整し、丁寧に大切に牛を育てる。健康な牛でないと、おいしい味の牛乳はできません」

## 命が生み出す“きれいな味”

クローバー牧場で飼育されているのは、日本で飼育されているほとんどの乳用牛と同じホルスタイン種だ。乳を出すのはもちろん雌牛で、妊娠、出産が不可欠。徹さんは、自身で種雄牛（種牛）を選んで種付けし、生まれた仔牛を成牛になるまで育て上げる自家育成という方法で乳牛を飼育している。

「肋骨が張った、しつかり食べられる身体。これが一番大切です。食べられる牛が、強くて健康な牛です」

乳牛の健康度を測る指標に、『体細胞数』というものがある。簡単に言えば、乳牛の職業病ともいえる乳房炎を発症しているかどうかを測る数値だ。高ければ乳房炎を発症

している可能性が高くなり、低い方がより健康であるとされる。そしてクローバー牧場の牛は、この数値が全国トップレベルで低い。徹さんは話す。

「日本の乳牛は、平均2・2~3回お産をすると弱ってしまいます。うちの牛たちは平均3・5回出産し、12回出産した牛もいます。牛をよく見て、大切に育み、健康を保つ。そうすることで、牛乳本来の“きれいな味”がでかけるのです」

牛の命の証である牛乳。その“特別さ”をぜひ味わってみてほしい。

☆クローバー牧場の特別牛乳は木津川市ふるさと納税の返礼品です。



エサは牧草と、穀類主体の配合飼料、ビートの3種類とシンプル。出産し、乳量が増えると、通常の給餌量では栄養が不足するので、牛それぞれのライフステージに合わせて、必要な量の餌と配合のバランスを考える。



### クローバー牧場の木津川市ふるさと納税の返礼品



寄附額 10,000円

#### 京都の特別牛乳セット

特別牛乳900ml×2本  
特別牛乳ヨーグルト300g×2個  
「特別牛乳」の製造許可を受けている牧場で、自然の味を損れない方法で加工した牛乳とヨーグルトのセットです。

※写真撮影時以外はマスクを着用しています。

提供：クローバー牧場 木津川市加茂町観音寺今辻38 ☎ 0774-76-7711



寄附額 10,000円

#### こだわり贅沢アイス 6個セット

130ml×6個  
まるで特別牛乳を飲んでるかのような口あたりの良さ。特別牛乳を80%配合したこだわりのミルクアイスです。

木津川市ふるさと納税  
WEBサイトはこちら



## 木津川市をもっと知ってみませんか

# 木津川市はどこにある？

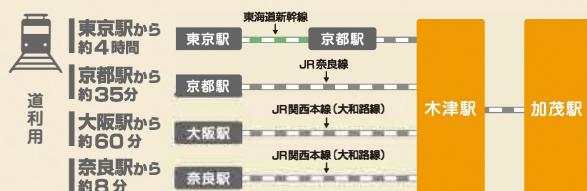
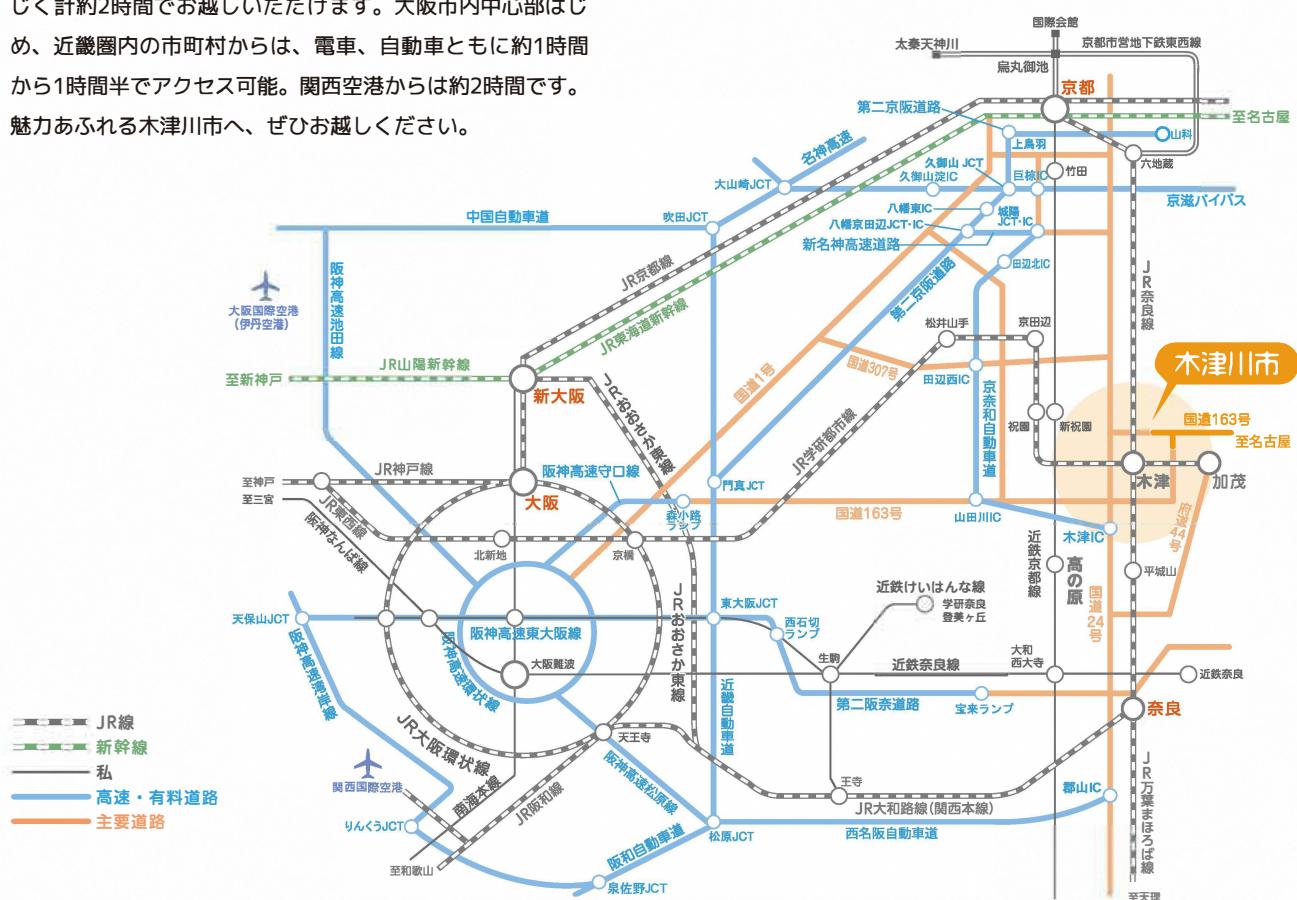
近畿のほぼ中央に位置し、京都・大阪の中心部から約30キロメートル圏内にある木津川市。京都府内では京都市に次ぐ数の国指定有形文化財を有し、豊かな自然・里山が広がっています。また、先人から受け継がれてきた歴史遺産とのどかな景観が楽しめる一方、近年では国家プロジェクトである「関西文化学術研究都市」の一翼を担う都市としての建設が進められています。



木津川市を訪ねてみませんか

# 木津川市へのアクセス

首都圏からは京都駅まで新幹線、京都駅からJR在来線、近畿電車に乗り継いで計約4時間、中部地方、中国地方からは同じく計約2時間でお越しいただけます。大阪市内中心部はじめ、近畿圏内の市町村からは、電車、自動車とともに約1時間から1時間半でアクセス可能。関西空港からは約2時間です。魅力あふれる木津川市へ、ぜひお越しください。



※上記の路線図の一部路線、駅やインターチェンジは省略しています。

工房にディスプレイされている雑貨や道具は多彩。いい雰囲気に色落ちした、くすんだカラーの椅子。シンプルなデザインだが、丸みのあるフォルムが愛らしい革財布。ニュアンスのある色味のコットンのバッグは、持ち手を肩にかけるとふわりとした三角形になる。懐かしいプラスかつこい。ナチュラルだけど、シャープなディスプレイも漂う。中野さん夫婦が作る雑貨や家具は、さまざまなセンスが絶妙なバランスでミックスされているように見える。

自分が好きなモノを作る

ふるさと納税の返礼品として人気の「もち手がひとつのかばん」について、奈緒さんはこう話す。

「私自身が、こんなカバンがほしいなと思う手がひとつのかばん」について、奈緒さんはこう話す。

6.工房名は、奈緒さんのNaOに由来している。最近は成人した娘さんが、イラストなどを描いて制作に関わることもある。6・7.革小物は最初は固いが、長く使ううちにやわらかくなり、日焼けして輝ができる。「使い込むほど味が出るのがいいですね。大切にしまっておくのではなくて、ガンガン使ってほしい」と喜裕さん。最近は、お客さんの子ども世代からも、注文が入るようになった。



度か作るうちに型紙ができて、定番の作品になっていた。一方、喜裕さんが作る木製の収納ボックスや椅子は、適度なダメージ感をくわえ、色をむらに塗つたり落としたりして、使い込んだ風合いにしている。

「アンティークが大好きなんです。でも、自分で作る家具に古材は一切使つていません。新しい材をどうやって古く見せるか。その加工の作業がおもしろいんです」

材料はホームセンターで買えるパインや杉で、塗料も市販されている一般的なペンキ。大まかな形ができると、奈緒さんと話し合いながら色を決め、少しずつダメージをつけて仕上げるのだと言う。

### 自分スタイルで制作に向き合う

友人からも家具の制作を頼まれるように作りました。色や素材も、私が好きだったから

使いやすいようにサイズ調整しながら何

も喜裕さんは会社員と二足のわらじで家具や小物を作っているが、過去には夫婦で工房に専念しようと考えた時期もあった。

「でも僕たちの場合、義務のように作るのはちょっと違うな、と。職人さんの仕事に憧れる気持ちはすごくありますが、楽しみながら作ることで出せる味もあると思うんです」

自然体で広がった中野さん夫婦のもの作り。「好き」がベースの雑貨や家具には、ふたりの生き方が反映されている。

☆coyotE noaの雑貨は木津川市ふるさと納税の返礼品です。



和気あいあいとした雰囲気のおふたり。結婚する以前から、喜裕さんから奈緒さんへのプレゼントは、手作り品だったそう。奈緒さんは学生時代に服飾を専攻し、ウェディングドレスも自分で作った。

## coyotE noaの木津川市ふるさと納税の返礼品



寄附額 60,000円

### くつたりお財布

使えば使うほどくつたりと可愛くなります。自分だけのオリジナルな風合いに仕上がる、その経過も楽しめます。

提供: coyotE noa 木津川市加茂町辻下垣内16

当尾の郷会館(週末のみ作業場として利用・不定休)

問合せ: Instagram (coyotenoa)からDMまたはEメール coyotenoa@yahoo.co.jp



寄附額 20,000円

### もち手がひとつのかばん

マチがなくコンパクトになるので、衣類や雑貨用のエコバッグとしてもお使いいただけます。

木津川市ふるさと納税  
WEBサイトはこちら



※写真撮影時以外はマスクを着用しています。



### 鹿ジンギス

寄附額 10,000円

木津川市で獲れた鹿肉です。捕獲から処理施設への搬入を迅速に行える様に狩場である森の下に食肉処理施設を作りました。「森の下でproject」の新鮮で安心安全なジビエを是非ご賞味ください。



### 〈京都産〉旬の野菜と赤米のセット

寄附額 10,000円

木津川市で、栽培期間中、肥料と農薬を使わずに育てた野菜と赤米のセットをお届けします。



### お肌にやさしい 手作り石けん3個セット

寄附額 10,000円

天然の植物の香りで優雅なバスタイムを。シンプルだから、洗顔・浴用、そして洗髪にも。しつつり洗い上がる所以、乾燥気味の肌の方におすすめです。



### 山城筍セット

寄附額 30,000円

木津川市で竹と筍を活用して町おこしをしているNPO法人加茂女的主要製品。筍瓶詰め和洋中の3種、筍スルメ2種、筍ジャムの詰め合わせです。



### きじ肉〈ジビエ〉1kg

寄附額 40,000円

鳥肉専門店ナカムラポートリーで養鶏しているのは、高麗雉と言う品種。安全なエサを食べて育った、サイズの大きな雉です。



### ディナーペア券(ドリンクペアリング込み)

寄附額 150,000円

京都府と奈良県の県境にあたる緑豊かな郊外、木津川市の完全予約制のイタリアンレストラン『リストランテナカモト』のペアディナーチケット。



### 木のお椀:拭き漆仕上げ 汁椀 小丼 具だくさんスープ 大容量500ml

寄附額 50,000円

シチューや丢にも使える汁椀。ウレタン塗装の肌触りが苦手な方、毎のことだから、ちょっといい器を使いたい、という方にピッタリです。



### ブルーベリー摘み取り体験(2名) 1キロ×2名分のお土産付き

寄附額 15,000円

〈期間限定〉山城町神童子の自然豊かな土地で栽培されたブルーベリーの摘み取りを2名様で体験できます。1キロ×2名分のお土産付き。



### 食パン深Shin 計5個

寄附額 10,000円

木津川市にあるクローバー牧場の特別牛乳と高級オリーブオイルキヨエだけで仕込みました。水と砂糖を使わず、特別牛乳の甘さをヒマラヤのピンクソルトが引き出しています。



### とれたてヒノヒカリ(10kg) 15回送ります!!!

寄附額 200,000円

京都府の最南端、木津川市の土地の特徴である寒暖差を利用して、できるだけ化学肥料に頼らずに作られたおいしいお米です。



### -HITTITE- マガジンラックLong

寄附額 100,000円

細身のデザインなので、シンプルなお部屋のさりげないアクセントに。飾りたいものによって、お好みでバーの位置を調整することが可能。枠にとらわれず、お気に入りの品を飾ってください。

## 木津川市ふるさと応援基金の活用事例

皆様からの寄附金は  
このように使われています!!



### 考え、練り合い、高め合う『学びの力』の育成に活用しました。

木津小学校では、木津川市特色ある学校づくり推進事業の一環で「考え、練り合い、高め合う『学びの力』の育成」をテーマにICT等を活用した言語活動の充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した研究に取り組んでおり、先進校視察やICT機器等の購入に寄附金を活用させていただいている。

本校では、生活科・理科を中心にICT等を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて取り組んできました。

ICT等を活用した対話的な学習活動を児童が学ぶ方法の一つとして位置付け、これからも児童の「生きる力」の育成を目指していきます。

木津川市立木津小学校

あなたのサポートがより良い  
まちづくりにつながります!!

## 木津川市のファンを大募集!!



木津川市は、土地、人、もの、たくさんの魅力にあふれるまちです。木津川市が発行する「絆人 Kizuna-Bito」では、毎号 木津川市の魅力的な人たち“絆人”を紹介していきます。絆人の紡ぐストーリーに関心を持ち、木津川市に興味が沸いたら、ぜひ木津川市のサポーターになってください。そして木津川市へお越しください。わたしたちが受け継いだ、大切な多くの宝物を後世に伝えていくために、皆さまの応援が必要です。



木津川市 ふるさと納税  
WEBサイト

木津川市へのふるさと応援基金に関するお申し込み、お問い合わせは



ふるなび

さとふる

地域から日本を元気に!  
楽天ふるさと納税

セゾンのふるさと納税

### 編集後記

「ザ・夫婦特集」とも言える内容になつた今号の絆人。いろんな思いと歴史があつて、それぞれの「今」があるのだと感じました。そして「今」、生み出されているモノの素敵であること!この冊子が、木津川市の返礼品の奥深い魅力を知つてもううきつかけになることを願います。(山川)

ファインダーを通して見えた世界は、とてもあたたかく優しいご夫婦の時間でした。

そんなご夫婦から生まれる返礼品は、優しさのカタマリだと感じます。優しい街、木津川市を知つていただけたら嬉しいです。

木津川市民歴19年田口(岡田)

木津な人たちを知つて、まちの魅力を感じてもらえると嬉しい。毎回、木津川市のふるさと納税返礼品が生まれる現場を紹介している「絆人」。ご夫婦の素敵な物語や作り手の想いと優しさに溢れた空間で感じた雰囲気を皆さんにも共有出来たらと思いお届けします。(松田)

10

絆人



## 「好き」がベース 自然体の夫婦が作る オリジナル雑貨



coyote noa  
(コヨーテ ノア)  
なかの よしひろ な お  
中野喜裕さん・奈緒さん



### はじまりは日曜大工

木津川市加茂町にある、廃校を利  
用した当尾の郷会館に、工房  
「coyote noa」を構える中野  
喜裕さん・奈緒さんご夫婦。喜裕さ  
んは革小物や木製家具を、奈緒さ  
んはラフトマーケットなどに出店して  
いる。

喜裕さんに家具を作りはじめたきっ  
かけをたずねると、「妻の要望を聞い  
て作ったのが最初です。はじまりは日  
曜大工でしたね」と笑う。



1.現在の場所に工房を移して5年目。ふたりで相談しながら制作する。2・3.感覚で「好きだな」と思う生地を選ぶと、コットンやリネンになることが多いそう。4.「もち手がひとつのかわいいカバン」(上)の下にあるサコッシュもふるると納税の返礼品。